



遠藤選手に熱い声援を送る来場者（2月9日予選時）

猪苗代から熱い声援送る

平昌五輪パブリックビューイングを開催

平昌五輪の男子モーグルに出場した遠藤尚選手を応援するパブリックビューイングは2月9日と12日、学びいなで行われました。遠藤選手は、12日に行われた予選2回目を勝ち上がり決勝1回目に進出。決勝1回目を1位で通過し、迎えた決勝2回目。果敢な攻めの姿勢でコブに挑みましたが、惜しくも転倒し、敗れました。会場には大勢の町民や猪苗代高校の生徒、後援会員らが集まり、遠藤選手に熱い声援を送りました。

震災関連特別展覧会を開催

はじまりの美術館で企画展を開催

はじまりの美術館では2月24日から、企画展『ピオクラシー「途方もない今」の少し先へ』を開催しています。東日本大震災から7年を迎える本県において、改めて震災や暮らしについて考えてもらおうと同館が企画。13人の作家による作品が展示されています。24日には、オープニングイベントが催され、企画展参加者らによるトークイベントや双葉町標葉せんだん太鼓の演奏が行われました。この企画展は3月25日まで開催されます。



二葉町標葉せんだん太鼓によるオープニングイベント

明るい町づくりに役立てて

東北電力会津若松支社がLED防犯灯を寄贈

東北電力会津若松支社は2月1日、町にLED防犯灯15基を寄贈しました。寄贈式は同日、町役場で行われ、千葉正宏東北電力会津若松支社長が前後公町長に目録を手渡しました。式では、千葉支社長が「地域の防犯と明るい町づくりに役立ててください」とあいさつ。前後公町長が「ご厚意に感謝します。町民一丸となり、明るいまちづくりに生かしていきます」と感謝の言葉を述べました。



目録を手渡す千葉支社長（中央）。左は梅津秀哉総務課長

豆を投げ、悪い鬼を退治

野口記念館で翁島小児童が豆まき

翁島小学校の1、3年生の児童約20人は1月30日、節分にちなみ、野口英世記念館の野口英世博士の生家で豆まきを行いました。児童は、八子弥寿男野口記念会理事長から節分の由来などについて説明を受けた後、野口博士の生家の神棚に豆を供えました。

鬼に扮した職員らが登場すると、児童は「鬼は外、福は内」と声を上げながら豆を投げ、鬼を追い出しました。



野口博士の生家で豆まきをする児童



ニホンザルの生息状況を調査する参加者

農林業への被害防止を図る

ニホンザル調査会を開催

ニホンザルによる農林業への被害防止対策を図ることを目的としたニホンザル調査会は2月24、25の両日、町内で行われました。調査会には、会津北部地域鳥獣被害防止広域対策協議会やNPO法人おーでらすの会員ら約20人が参加。ニホンザルに取り付けた発信機などを使い、町内に生息するニホンザルの8つの群れの行動範囲や頭数調査を行いました。調査結果は、今後の被害防止対策に生かしていきます。

冬山遭難に備え救助技術を学ぶ

猪苗代地区山岳遭難対策協議会冬山遭難救助訓練

町山岳会、警察署や消防署などで組織する猪苗代地区山岳遭難対策協議会は2月20日、猪苗代スキー場中央で冬山遭難救助訓練を実施しました。訓練には、同協議会の会員ら34人が参加。万が一の事故を想定して、雪崩に巻き込まれた人の捜索や救助訓練などを行いました。

参加者は、救助技術や知識の向上のため、真剣な表情で訓練に取り組みました。



救助訓練に取り組む参加者

阿部ノブ子さんが100歳に

長寿を祝い、賀寿などを贈呈

2月9日に100歳の誕生日を迎えた阿部ノブ子さん（荻窪）への賀寿贈呈式は同日、阿部さんの自宅で行われました。県会津保健事務所の角田祐喜男保健福祉部長が知事賀寿と会津漆器の木杯を贈呈。続いて前後公町長が賀寿や記念品などを手渡しました。

次男の等さんは「母は、週2回のデイサービスでいろいろな人たちと話すことを楽しみにしています。これからも皆さんにお世話になりますが、よろしくお願いします」と謝辞を述べました。



100歳の誕生日を迎えた阿部さん（前列左から2人目）

自転車で雪上を駆ける

マウンテンバイク大会「冬のジン I N 南ヶ丘牧場」

マウンテンバイクの雪上耐久レース「第6回冬のジン I N 南ヶ丘牧場」は2月12日、磐梯高原南ヶ丘牧場で行われました。ジンギスカップ実行委員会が主催し、毎年開催しています。

大会には、男女や年齢別の5種目に県内外から約80人の選手が参加。1周約1.8kmのコースで、1時間の周回数を競いました。選手たちは降りしきる雪の中、マウンテンバイクを巧みに操り、熱い戦いを繰り広げました。



雪上をマウンテンバイクで走る参加者